

登録コード	E7217200	開講年度	2026				
授業科目	レクリエーション・スポーツ実習					担当教員	橋本 政晴
英文授業名	Recreational Sport Practice					副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生	
講義室	教育第1 体育館	教育グラウンド	授業形態	実技	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				マイナースポーツやニュースポーツを集団で実践する際のルールや規範を身につける．		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				マイナースポーツやニュースポーツを継続して行うための実践力を身につけるようになる．		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業でとりあげるスポーツの歴史やルールについて紹介し，各種目が内包している寛容性について解説する．そして各スポーツにおいて，個々の技術力を高めると共に，チーム戦術を構成することによって，男・女／健常者・障がい者／運動技能の高低などのような物差しにとらわれないレクリエーション的なスポーツの実践的な知識や技術を培う．						
(5)授業計画	第01回：レクリエーション的なスポーツへの招待 第02回：ハンドボール 歴史・ルール／個人技術 第03回：ハンドボール パスとシュート 第04回：ハンドボール 集団技術(1)2対1 第05回：ハンドボール 集団技術(2)3体2 第06回：ハンドボール 集団技術(3)ポストプレー 第07回：ハンドボール チーム戦術／ゲームと評価 第08回：ユニホック 第09回：アルティメット 第10回：フロアホッケー 第11回：インディアカ 第12回：シットینگ・バレーボール 第13回：ビーチ・ボール 第14回：マレットゴルフ						
(6)成績評価の方法	各種目における技能到達レベル（60％）と受講参加度（40％）により判定する．						
(7)成績評価の基準	授業の達成目標への到達度は得点率に応じて評価する。得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可．						
(8)事前事後学習の内容	次回の授業で行う実技内容に関する知識を調べ，動画を視聴してくる． 授業後に振り返りを行い，技能到達レベルを確認しておく． 45時間の学修を必要とする内容のため，15時間以上の時間外学習が必要．						
(9)履修上の注意	実技を行う上で適した服装とシューズを準備すること．						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールで対応する．						
【教科書】	指定なし						
【参考文献】	指定なし						